

第31回

『戦争体験を語り継ぐ集い』

「戦争体験を語り継ぐ集い」は、今年で31回目を迎えます。『二度と戦争を起こさないために、戦争体験と、その教訓を正しく真実として語り継ぐこと』を大切に、継続して取り組んでいます。“語り継ぐことの大切さ”“平和の大切さ”について、一緒に考えてみませんか。ご参加をお待ちしています。

平和をねがって
今、伝えたいこと



細田暢三さんと加納佳世子さんによる対談「少年飛行兵だった頃」

細田暢三さんプロフィール

1929年（昭和4）島根県能義郡布部村（現 安来市広瀬町布部）に生まれる。布部尋常小学校高等科を卒業。1944年（昭和19年）大津陸軍少年飛行兵学校に入校。その後教育を受け、7月盛岡に派遣。8月に終戦となり郷里に帰る。現在は自分の体験を通じ、戦争について語り継いでいる。90歳。

加納佳世子さんプロフィール

1944年韓国ソウルに生まれる。翌年9月島根県能義郡布部村に家族とともに引き揚げる。広島大学教育学部卒業。大阪で38年小学校教諭。薫英女子短期大学非常勤講師を経て安来市加納美術館の館長を歴任。2017年より名誉館長。現在は父加納辰夫（莞菴）の思想を広めていきたいとの想いで講演活動をしている。



アンコールにお応えしての
「再演」となります！

朗読で伝える『ヒロシマと私』

広島高女1年生だった西尾幸子（にしお さちこ）さん（88才）の同級生223人は、8月6日に建物疎開の作業中に被爆し、全員が亡くなりました。島根県に疎開して助かった西尾さんは、「生きてくても生きられなかった子どもがいる」と同級生の無念を伝えています。現在は小学校へ出向き、6年生に「悲劇をくりかえさせてはいけない、戦争も核兵器もいらない」と平和の語り部活動をしています。西尾さんの平和への思い、核兵器廃絶への思いを若い世代が心を込めて朗読します。

と き 2019年12月7日（土）13：30～15：30

○対談：「平和をねがって 今、伝えたいこと」 ○朗読で伝える『ヒロシマと私』

ところ 島根県民会館3階大会議室 **参加費「無料」です！**

主 催 「第31回 戦争体験を語り継ぐ集い」実行委員会

・松江保健生協・新日本婦人の会・松江民主商工会・島根県教職員組合・生協しまね

【お問い合わせ】

松江保健生協まちづくり委員会

TEL 0852-27-3774

FAX 0852-32-9371

担当：宮廻 090-5704-0346